

とっとりひきこもり生活支援センター 活動紹介



NPO法人鳥取青少年ピアサポート
とっとりひきこもり生活支援センター
相談員 山本 満

NPO 法人鳥取青少年ピアサポートの沿革

◎平成14年度～

ひきこもり支援の実施

ひきこもり者の働くお店「パン工房ピア」開設

ひきこもり者就労体験事業開始
鳥取県単県の受託事業



◎平成18年6月～

「パンカフェののな」として移転開所（鳥取市中心市街地）



◎平成20年4月～

①障がい者支援事業

「まちの広場ののなファクトリー」開設

一般相談
計画相談

A型・B型
就労移行支援

地域との
つながりづくり

◎平成21年4月～

②ひきこもり支援（県委託）

「とっとりひきこもり生活支援センター」開設

西部

中部

東部

13～16名/年
実施中



官民連携のひきこもり支援

行政・公的機関

鳥取県健康政策課

鳥取県立精神保健福祉センター

心理の専門職が相談を実施、発達障害関係の鑑別診断、保健所や市町村など他機関との連携技術支援や専門職への助言等、ひきこもり職場体験事業連絡会の開催(毎月)

県内3圏域の保健所、保健局

圏域のひきこもり相談、圏域別連絡会の開催、家族会の開催、職場体験申し込み先、他機関連携

連携

民間支援機関

とっとりひきこもり生活支援センター 鳥取県委託事業 (東部・中部・西部)

ひきこもり相談、本人の状況や希望に合わせて社会参加・就労支援等を実施。
その他、様々な方法で社会とのつながりをトータル的にサポート

併設

福祉サービス事業

相談支援センターゆくり

就労移行支援事業・就労継続支援A・B型

とっとりひきこもり生活支援センター 概要 (平成21年4月開設)



(1) ひきこもりに特化した専門相談窓口（県内3カ所設置）

- ・ 社会福祉士/精神保健福祉士/臨床心理士などのひきこもり支援コーディネーターが在籍
- ・ 電話、メール、SNS（LINE）、来所、家庭訪問などにより家族・本人相談対応
- ・ 家族支援、本人支援→本人の社会参加支援～就労支援等本人への支援

(2) ひきこもり職場体験事業（年間13～16名程度利用）

(3) ひきこもりに関する理解促進・普及啓発・情報発信

- ・ 令和元年度より「ひきこもりサポーター養成研修会」開催
- ・ 令和4年度より「ひきこもり問題を考えるフォーラム」開催
- ・ 地域、関係機関への理解促進、啓発活動、情報発信等

(4) 市町村等への後方支援と関係機関ネットワークの構築

(5) 居場所（3rd PLACE itumo）の設置（鳥取市委託事業）

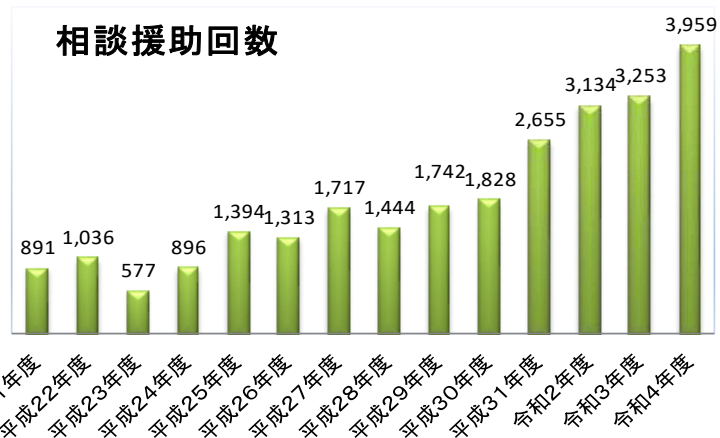
(6) 家族の集い「家族サロンゆくり」開催（独自事業）



相談支援状況

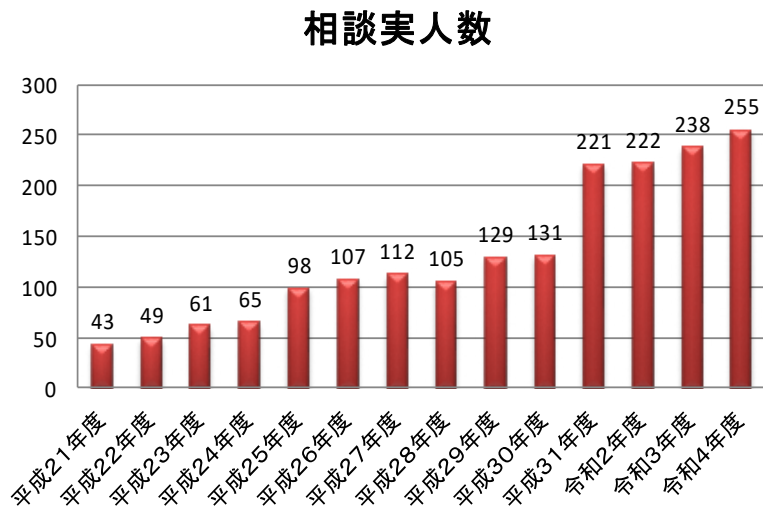
相談延べ件数

相談援助回数	延回数
平成21年度	891
平成22年度	1,036
平成23年度	577
平成24年度	896
平成25年度	1,394
平成26年度	1,313
平成27年度	1,717
平成28年度	1,444
平成29年度	1,742
平成30年度	1,828
平成31年度	2,655
令和2年度	3,134
令和3年度	3,253
令和4年度	3,959
合計	25,839



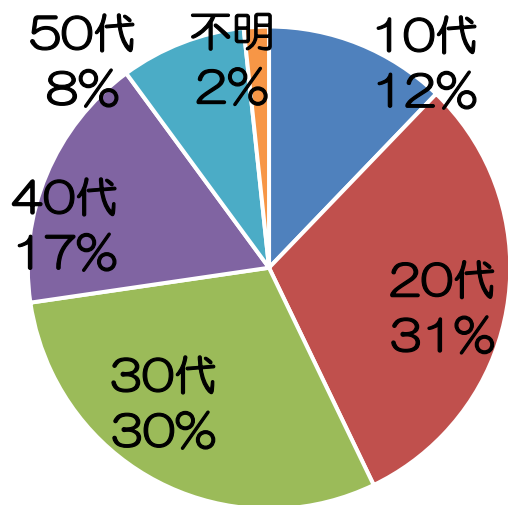
相談実人数

相談実人数	実人数
平成21年度	43
平成22年度	49
平成23年度	61
平成24年度	65
平成25年度	98
平成26年度	107
平成27年度	112
平成28年度	105
平成29年度	129
平成30年度	131
平成31年度	221
令和2年度	222
令和3年度	238
令和4年度	255
合計	1,836

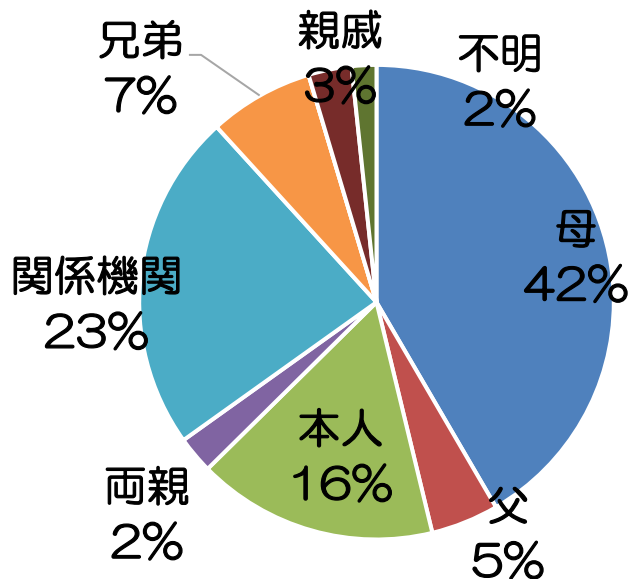


令和4年度 相談分析

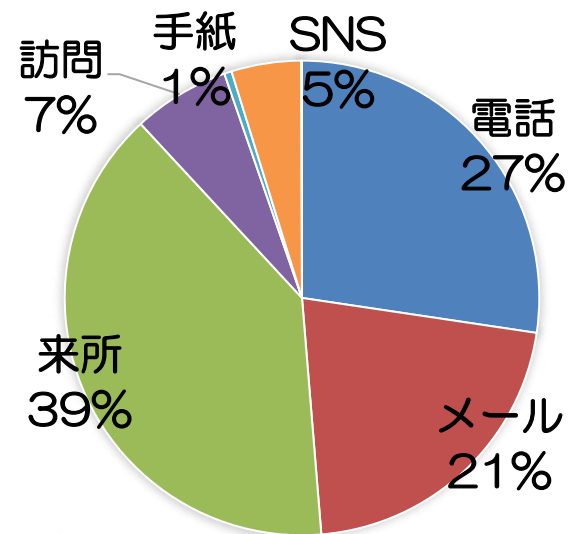
相談者年齢構成



初回相談者（続柄）



相談方法



ご相談支援の流れ

様々な支援メニューを通じて段階的に社会参加・繋がりを広げていく

初期
相談

ご本人支援

- ・個別相談支援
- ・訪問支援(アウトリーチ)
- ・居場所支援
- ・当事者会(女子会・男子会)
- ・社会参加支援
(社会体験、外出支援)
- ・情報提供

ご家族支援

- ・個別相談支援
- ・訪問支援(アウトリーチ)
- ・家族の集い
- ・居場所支援
- ・継続支援
- ・情報提供

○職場体験事業
(30日・60日・90日)

○福祉就労
・就労移行支援
・就労継続支援A/B型

○一般就労
・ハローワーク
・若者サポートステーション

○生活支援
・自分らしく暮らせる生活支援

社会とつながるサポート

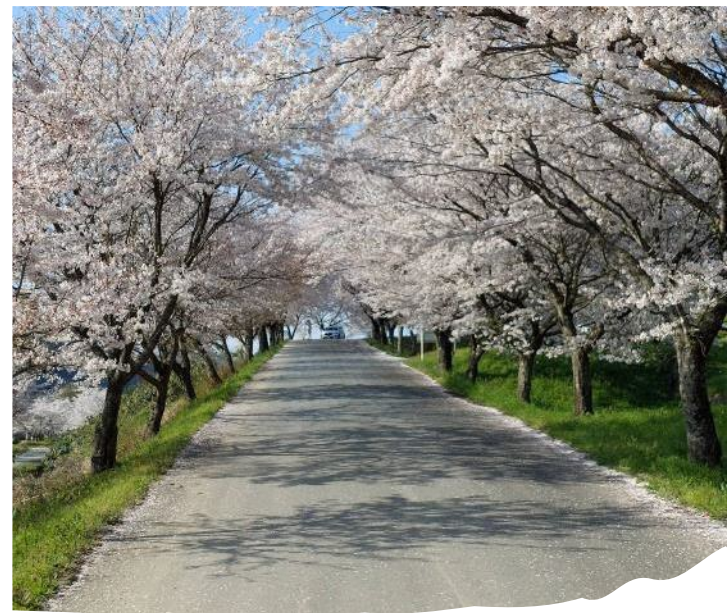
ご本人の状況、心情を尊重し段階的サポート

入口

社会で生活していくことへ再チャレンジ
主体的に将来を選択決定していく意欲を高める

出口支援

一人ひとり
これからの道に向かう
選択肢を一緒に探す...



身近な環境も社会資源として...

**一緒に外出してみたり、
体験してみたりすることで
少しずつエネルギーを貯めていく。**

ひきこもり職場体験事業について

社会参加のきっかけをつかめるようサポートいたします

こんなメリットがあります

- 社会参加の機会の確保により、生活リズムが安定する!
- 就労への意識や理解が深まり、モチベーションが上がる!
- 自己肯定感を掘り起こし、生き方や将来の方向性を見い出せる!

ご利用までの流れ

- 相談
- 申し込み
- 利用開始
- フォローアップ

Q&A

どのくらいの期間、体験できるの?

体験期間は一人当たり30日を原則として、最大90日利用が可能です。

どこで体験できるの?

民間企業や個人事業主、福祉施設で体験を行うことができ、場所の指定はありません。ご本人様のできること、やりたいことを中心に体験先を調整していきます。

費用はかかるの?

費用は無料ですので、安心してご利用できます。

体験に条件はあるの?

- 6ヵ月以上ひきこもり状態が続いている方
- 精神疾患に罹患していないと考えられる方
- 原則として県内在住の方
- 満15歳以上の方

※ 体験終了後の連絡や方針について一緒に検討していきます。

目的

- ・社会参加の機会、生活リズムを安定
- ・就労への意識や理解、モチベーションの向上
- ・自己肯定感、生き方や将来の方向性の見出し

体験者要件

- ・6ヵ月以上ひきこもり状態
- ・精神疾患に罹患していないと考えられる方
- ・原則として県内在住の方・満15歳以上の方

実施内容

- ・民間企業や個人事業所、団体等で体験を行う
- ・実施期間は30日を原則 →最大90日延長可
- ・体験状況を適宜把握・助言等を行い、その後のフォロー含む





社会リハビリテーションとしてのケア的就労支援

●定期的に安心して外出できることを重視

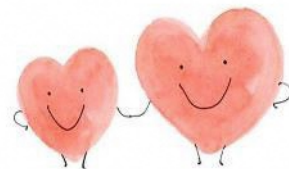
- ・ 週1.2回程度、1回1.2時間からでも可能な仕事の切り出し
- ・ 馴染みや興味があることから始められる作業内容
- ・ 対人不安・恐怖などへの配慮が可能な場所

(パーテーションで区切る等、個々の作業スペースや希望に沿った環境)



- ・ 作業体験を通じて緩やかな自己肯定感、希望や自信の取り戻し
- ・ 自分自身の今後について考えるきっかけづくり

(自分らしさ・少し先の自分の目標・自己有用感・勤労観・職業観など)



職場体験事業の効果





NPO法人鳥取青少年ピアサポート の社会資源①

nonona

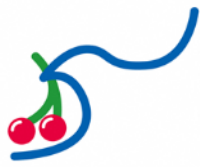
(就労継続支援 B 型事業所)



まちの広場ののなファクトリー

(就労継続支援事業 A 型・B 型)





NPO法人鳥取青少年 ピアサポート の社会資源②

やまがた
(表面)



かきがた
(表面)



TOTTORI
CHEESE
GARDEN



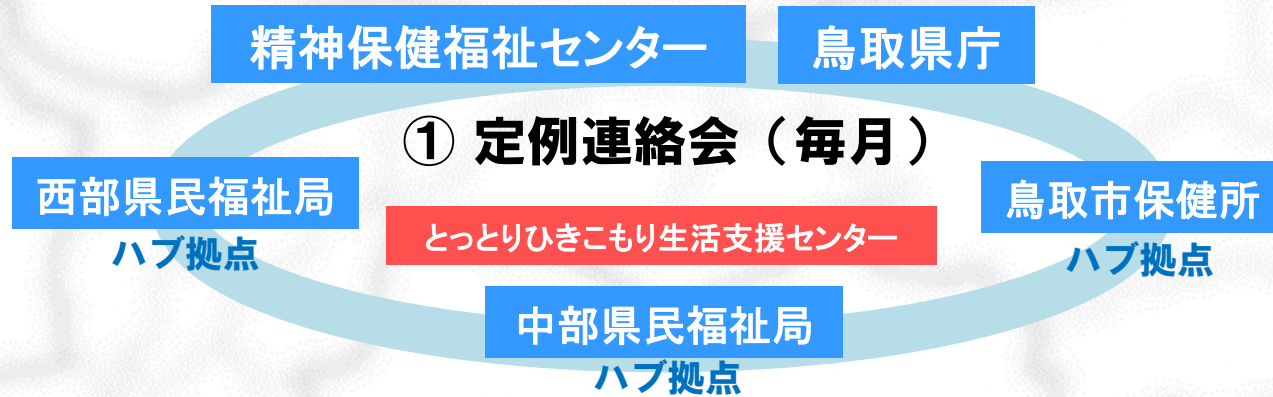
コッペパン
専門店



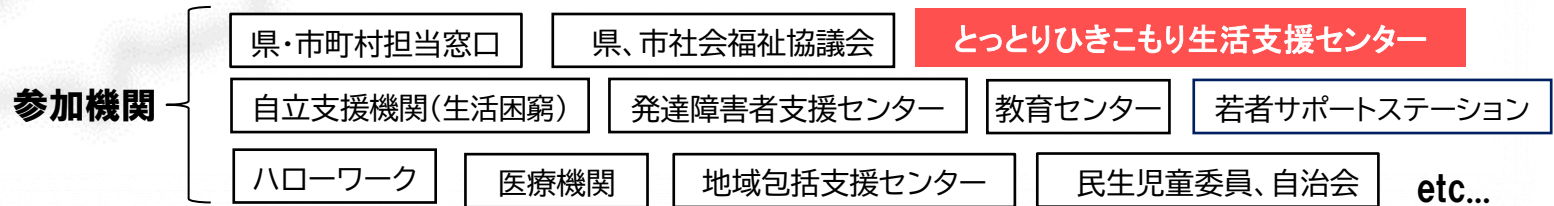
La la coupé
コロコッペ



市町村支援と連携体制



②各保健局主催の圏域別連絡会（年2回）への参加

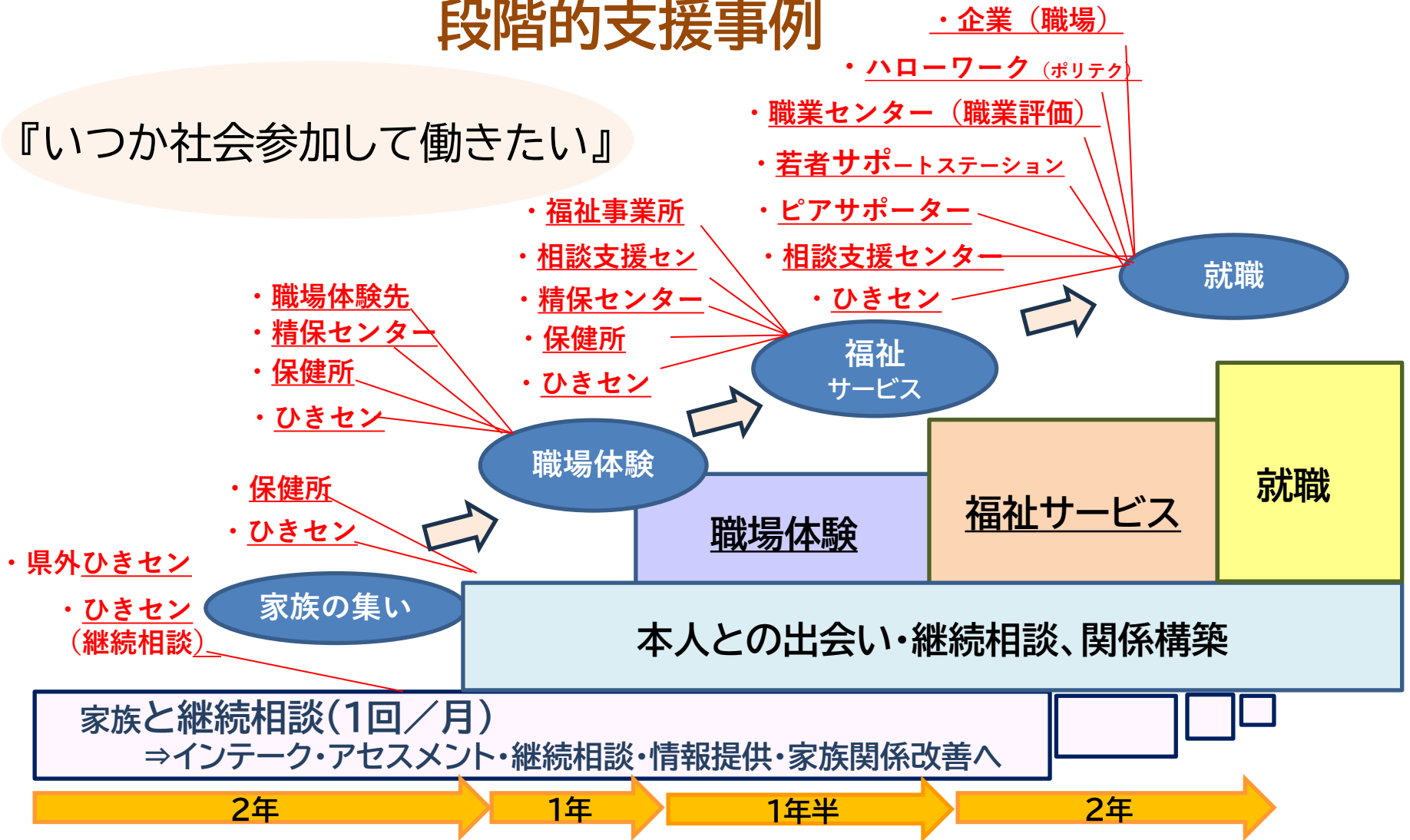


③各市町村での支援会議への参加 地域の人権問題、民生児童委員への啓発活動



段階的支援事例

『いつか社会参加して働きたい』



ご清聴ありがとうございました。

